

第 12 回

オンライン同時開催

経営改革シンポジウム

無料

人財で紡ぐ未来

中小企業流の

人的資本経営

成功への扉を開ける、その鍵は人的資本経営にあり

人的資本経営とは、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方です。現在、多くの中小企業は人材に関する悩みを抱えており、人材の価値を最大化させることが重要な経営課題となっています。人材をコストではなく「資本」と捉える人的資本経営に取り組み、生産性や定着率の向上につながる職場環境の整備や人材教育への積極的な投資を行うことで、中小企業が直面している様々な経営課題の解決につながります。本講演では、人的資本経営について実施企業と支援者と公的機関の視点で紹介します。

日時

2024年2月22日(木)

13時30分～17時30分

受付開始：13時15分

第一部

人的資本経営に取り組む事例紹介

第二部

参加者によるパネルディスカッション

お申し込み

先着100人

オンライン同時開催



場所

ウィンクあいち
1103会議室



<https://catalog.ds-ai.net/dsb234496/surveys/index/59/>

講演者と講演概要の紹介



中部経済産業局 地域経済部
地域振興・人材政策 課長補佐

鈴木 久美子 氏

多様な働き方（兼業・副業等）による外部人材の活用や、未来人材の育成・活躍支援、ダイバーシティ経営の普及啓発を通じた、地域企業における多様な人材（若者、女性、シニア、氷河期世代、高度外国人等）の活用・活躍支援業務を担当。

< 講演概要 >

中部地域における産業人材の育成及び活用支援に取り組む。人的資本経営をめぐる我が国の動向、中部地域の中小企業の「多様な人材を受け入れ、働きやすい職場」に向けた取組事例を解説するとともに、中小企業庁作成の「人材活用ガイドライン」を紹介する。



大橋運輸 株式会社
代表取締役

鍋嶋 洋行 氏

大学卒業後に地元信用金庫で7年勤務後、結婚を機に義父が経営する大橋運輸に1998年4月入社。同年11月から代表取締役に就任して、運輸業でいち早くダイバーシティ経営や健康経営を推進する。プライベートでは市民後見人や瀬戸市でオオサンショウウオ生息地の川清掃などに取り組む。

< 講演概要 >

愛知県瀬戸市に本社を置き自動車部品輸送や生前整理・遺品整理事業に取り組む。長年ダイバーシティ経営や健康経営に取り組み、経済産業省からダイバーシティ経営100選プライムや健康経営優良法人プライト500などに選定。ダイバーシティ経営や健康経営に取り組み、採用力を高めて人材を通じて地域活動の幅を広げている事例を踏まえて紹介。



一般社団法人 グローバル愛知

写真左 ヤーニン・ルーアンウィリヤ 氏

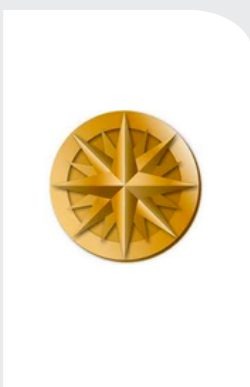
写真右 橋詰 翠 氏

橋詰：グローバル愛知では、主に中小企業の支援と日本語教育を担当。人材の紹介だけでなく、就職後の定着支援も行い、企業・外国人社員双方のサポートを行う。異文化理解に繋がる講演にも力を入れている。

ヤーニン：2014年に留学生としてタイより来日。卒業後、グローバル愛知の職員として留学生支援を担当。留学生の相談対応を行うほか、元留学生の視点から教育機関にて留学生向け就活ガイダンスも行う。

< 講演概要 >

2017年8月の設立以後、『中小企業の人材不足解消、留学生の就職率向上というミッション達成のため、産官学の連携、外国人に門戸を開いた企業ネットワークの創造、JBL（Japanese Business Life）ワンストップサービスを提供している。支援サービスの内容や活動実績を、元留学生や企業の声を交えてご紹介。



公益社団法人
愛知県中小企業診断士協会

人的資本経営研究会

本研究会では、「もっと会社を成長させたい」という中小企業の経営者に向け、人的資本の対応度を見える化する「診断ツール」を提供し、取り組むべき課題を明確にすることを目指しています。人的資本経営の指針としても認知されている「伊藤レポート」ですが、中小企業がこれを理解するのは難しく、実践することはさらに難易度が高いものです。そこでまず、人的資本経営を6項目の大テーマに分類し、中小企業経営者に伝わる「問い掛け」という視点で、参加メンバーの多様な経験や知見も交えてテーマを深掘りしています。

< 講演概要 >

経営資源の制約が大きい中小企業にとっては「人を採れない」「なかなか定着しない」といった目の問題が大きく、どんな取り組みが人的資本経営、更にその先にある持続的成長に繋がるか体系的にわかりにくいものです。そこで今回は「診断ツール」作成の過程で研究会メンバーが関わった中小企業診断士ならではの着眼点から、「明日からでもできそう」な取り組みのヒントをご紹介します。

パネルディスカッション



名古屋市立大学大学院
経済学研究科教授

鶴飼 宏成 氏

(株)住信基礎研究所(現・三井住友トラスト基礎研究所)で複数の調査プロジェクトに関わり、愛知学院大学経営学部教授、地域連携センター所長を経て、2019年4月より現職。同大学院経営者コースを担当。また、同大学・産学官共創イノベーションセンターにてNCU Action Doorsの推進責任者、文部科学省「持続可能な産学共同人材育成システム構築事業」進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)コンソーシアム実施責任者、2022年4月より学長補佐を兼務する(現・産学官イノベーション担当)。公職に、特定非営利活動法人起業支援ネット、一般財団法人中部圏地域創造ファンド、一般社団法人環境政策対話研究所の理事がある。専門は、アントレプレナーシップ教育の研究と実践、起業家論、ベンチャービジネス論。

主催 公益社団法人愛知県中小企業診断士協会

後援 経済産業省 中部経済産業局、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、公益財団法人 あいち産業振興機構
一般社団法人 中部産業連盟、愛知中小企業家同友会、中日新聞社、中部経済新聞社

運営 実行委員長：志田遼太郎

実行委員：梅田浩二、喜多佐智浩、浄土勉、鈴木雅彦、高田博之、温井啓太、前中瑞希、渡部知恵